



桜谷小  
保健室  
H30.4.16

## 体調がさえない・・・「のどが痛い」注意！

新学期が始まって、子どもたちは元気よく学習を進めています。運動場では走りの練習や遊具で楽しんだり、裏山を駆けまわっている日々です。

毎朝、教室では健康観察をしています。先週は、3年生が1名高熱と喉痛で「溶連菌感染症」と診断されて欠席しました。その周囲の子どもたちも発熱、喉痛で数名が欠席しました。そして、今朝は4年生1名が「アデノウイルス感染症」で欠席がありました。

欠席した子どもたちの症状は、「のどがいたい」「熱が出る」。どちらも、風邪の症状に似ているため、風邪かと思っていたのですが、「溶連菌感染症」「アデノウイルス感染症」の診断が出ました。特にのどの痛みが強いとき、高熱の際には受診していただきますようお願いします。気温が不安定で空気もかなり乾燥しています。これらの感染症の他にも日野町内では「インフルエンザB型」にかかっている児童もいますのでじゅうぶんご注意ください。



### <溶連菌感染症>

溶血性連鎖球菌という細菌が、のど（咽頭、扁桃腺）に感染して、のどの痛み、リンパ節の腫れ、発熱等、通常の風邪症状よりやや重症感があります。また、舌がいちごのように赤くざらざらとした状態になったり、体や手足に細かい発疹が出ることもあります。この溶連菌感染症は、免疫が成立する「二度なし病」ではありませんので、繰り返し感染する人もいます。

### <アデノウイルス感染症>

アデノウイルスは49種類がありさまざまな病気の原因になります。「咽頭結膜熱」と言われる「プール熱」もこのウイルスです。プールを介してかかることがあります。プールに入らなくてもうつります。飛沫や接触でうつりやすい病気です。症状は、高熱、咽頭（のど）、結膜（目）に症状が現れます。発熱は39℃前後で3～7日続きます。のどの痛みがひどく、目の痛みやかゆみ、めやにが出ると言われます。

